

HIRATO NAMBA

Painting the Soul of World Villages and Ruined Dwellings



《リオのファヴェーラ（ブラジル）》2011年 個人蔵

難波平人

世界集落、その魂を描く

2022.10.12 wed 水 — 12.4 sun 日

一貫して国内外の集落・遺跡などの“世界集落”を描くことで独自の作品世界を創りあげてきた画家・難波平人（1941－）。山口県熊毛郡上関町の長島や祝島の風景のなかで生まれ育った難波は、学生時代から約25年間、画家の原風景である海岸線の集落を日本全国訪ね歩き、その後約35年あまりにわたって世界の集落・遺跡を求め100か国以上を取材してきました。そして、80歳を過ぎた今も制作拠点である東広島市八本松町で自身の表現を追求しています。

本展は、難波の60年以上の画業を、郷里を描いた学生時代の作品から、欧州、アフリカ、アジア、中南米など国内外の集落や遺跡を描いた迫力ある大作、また取材時のスケッチや写真などの関連資料まで併せてご紹介するものです。

集落・遺跡の姿に画家の心象を重ね、そこに内在する普遍的な人間の存在や、過去から現在、そして未来へと続く時間——まさしく世界集落の“魂”を描き続ける難波平人の現在までの軌跡をご覧ください。

東広島市立美術館（広報担当：桑原 学芸担当：所 ）

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 開催概要

展覧会名 | 難波平人—世界集落、その魂を描く

会 期 | 2022年10月12日(水)～12月4日(日)

時 間 | 9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで / 10月28日(金)、11月25日(金)は19:00まで開館)
※10月12日(水)は10:00開館

会 場 | 東広島市立美術館3階展示室

主 催 | 東広島市立美術館、中国新聞社

後 援 | 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、(株)広島リビング新聞社
プレスネット、KAMON ケーブル、FM 東広島 89.7MHz、尾道エフエム放送、広島大学

観 覧 料 | 一般 800 円、大学生 500 円、高校生以下無料

■ 作家

難波平人 (なんば・ひらと / 1941-)

1941年山口県熊毛郡上関町白井田生まれ。

1964年に広島大学教育学部美術科を卒業、翌年同大学の研究生修了。その後、安井賞展、二紀展などの公募展に出品、入選や受賞を重ねながら、広島大学教授として35年間勤務し、後進の育成に励むなど地域の芸術文化振興と発展に尽力する。

1986年ヒロシマアートグラント'86受賞。1995年文化庁芸術家派遣でトルコ、翌年には文部省在外研修員派遣でフランス、イタリアを取材。2002年広島文化賞受賞。2004年中国文化賞受賞。2013年広島県地域文化功労者表彰。2014年文化庁地域文化功労者文部科学大臣表彰。2016年ウンベルト・マストロヤーニ国際芸術賞(イタリア)。ミハイ・エミネスク国際芸術賞(ルーマニア)。

現在、二紀会理事、広島大学名誉教授、広島大学名誉博士。



■ 展示構成

第1章「郷里を描く—画家の原風景」

難波が生まれ育った山口県上関町白井田を中心とした長島、祝島は、画家にとっての郷里であり、その漁村風景は現在までつづくイメージの根源となっています。第1章では、学生時代のデッサン、版画などの初期作品から1970年代はじめの油彩作品まで、郷里の姿を描いた作品を中心に、写真やスケッチも併せて紹介し、画家の原風景である郷里とそのイメージを探ります。



《海の家》1971年 個人蔵

第2章「日本の海岸線を巡る—画家の出発」

1970年代以降、難波は郷里を出発し、画家の心の奥にあるより強いイメージを求めて日本の海岸線の集落を訪ね歩き、制作に没頭していきます。第2章では、安井賞展や現在理事を務める二紀展をはじめとした公募展への出品や入選、受賞などを重ねることで画家として歩み始めた1980年代までの作品を中心に紹介します。また、併せて東広島や広島を描いたスケッチ、中国新聞の挿絵などを展示し、広島との関わりや地域文化への貢献について、その一端を紹介します。



《集落》1975年 個人蔵

■ 展示構成第

第3章「トルコ・フランス・イタリア、拡がる旅ー 画家の想い」

1990年代から、難波の旅は世界へと拡がります。ここから、人が住んでいる集落だけでなく、かつてそこに営みが在った遺跡も描くようになりました。入念な事前準備をして取り組む取材で対峙した遺跡の、時代を超え、人の生活が消え去った姿に、難波はより普遍的な“人間の存在”を感じたのです。

また、作品制作だけでなく、その想いを言葉にして綴り、妻・英子との共著で『トルコ83日の旅』(中国新聞社出版部1997年)、『フランス・イタリア美術紀行』(中国新聞社1999年)を出版する。第3章では、書籍としてまとめた特に思い入れの深いトルコ、フランス、イタリアを中心に、1980年から2000年代の作品を展示し、書籍に綴られた言葉も併せて展示することで、難波の旅における現地の人々との交流についても触れます。



《深淵（トルコ）》1993年、個人蔵

第4章「世界集落を描き続ける ー画家の今とこれから」

世界の集落・遺跡と対峙することで、郷里のイメージから発展し、より普遍的な“世界集落”の姿を表現するようになった難波。現在に至るまで、時には危険な状況に身を置きながら、世界を巡り、自身の表現したいイメージを追求してきました。これまで訪れた国は108ヶ国にも及び、その作品群によって独自の画業を築いています。第4章では、長年勤めた広島大学退官後、原風景である集落や遺跡を描くことを通じて自らの内なるイメージを具現化し、より画業に集中しはじめる2000年代以降の作品や、近年取り組んでいるアクリル絵の具による作品、スケッチや写真の資料も交えて、画家の現在地を示します。



《リオのファヴェーラ（ブラジル）》2011年、個人蔵

■ 同時開催 コレクション展 第Ⅲ期 旅におもいを馳せて

故郷の風景やゆかりの場所、あるいは旅先の景色を心にとめたり、研鑽をつむために海外へ渡ったり、作家たちは国内外に足を運び、時には旅をしながら、そこで出会ったものごとをきっかけに独自の表現へと辿りついています。本展は当館コレクションの中から、同時開催の「難波平人展」に関連して、「旅」や「風景」をテーマにご紹介します。

会 期 | 2022年10月12日(水)～12月4日(日)
 時 間 | 9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで / 10月28日(金)、
 11月25日(金)は19:00まで開館)
 ※10月12日(水)は10:00開館

会 場 | 東広島市立美術館2階展示室

主 催 | 東広島市立美術館

観 覧 料 | 一般300円、大学生200円、高校生以下無料



川西英《古道具屋》1941年

■ 関連イベント ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内容を変更する場合がございます。

1 講演会「世界集落を追って」

難波平人氏に本展出品作を中心にこれまでの画業についてお話しいただきます。

10月15日（土）14：00－15：30

講師 難波平人氏（出品作家）

会場 当館1階アートスペース

定員 40名（参加無料、事前申込制）

締切 10月1日（土）必着

2 ワークショップ「美術館周辺を描こう！」

東広島市立美術館周辺の景色を水彩画で描いてみましょう。完成した作品は当館アートギャラリーで11月8日から13日まで展示します。

10月22日（土）9：30－12：30

講師 難波平人氏（出品作家）

会場 西条中央公園（北側）、当館1階アートスペース

定員 25名（参加無料、事前申込制）

締切 10月11日（火）必着



3 コンサート「世界の歌を一緒に歌いましょう」

難波平人氏が取材した国の歌を参加者の皆さんと一緒に歌って楽しむコンサートです。

11月12日（土）14：00－15：30

講師 難波英子氏（ギタリスト）、「シャコンヌ」メンバー、難波平人氏（出品作家）

会場 当館1階アートスペース

定員 30名（参加無料、事前申込制）

締切 11月1日（火）必着



※過去のコンサートの様子

4 対談「画家が旅した集落と作品を語り尽くす」

瀬戸内から世界の辺境までを描いてきた画家・難波平人氏と、フィールドワークを通じ「風景美学」を探求する美学者・桑島秀樹氏による対談イベントです。

11月19日（土）14：00－15：30

講師 難波平人氏（出品作家）

桑島秀樹氏（広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

会場 当館1階アートスペース

定員 40名（参加無料、事前申込制）

締切 11月7日（月）必着



東広島市立美術館（広報担当：桑原 学芸担当：所 ）

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 東広島市立美術館 広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118 ■E-mail 2636026@izumi-techno.jp (東広島市立美術館 指定管理者 (株)イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)			
① <input type="checkbox"/>		④ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		⑤ <input type="checkbox"/>	
③ <input type="checkbox"/>		⑥ <input type="checkbox"/>	
			コレクション展第Ⅲ期 
			コレクション展第Ⅲ期 

- ①難波平人《リオのファヴェーラ (ブラジル)》2011年 個人蔵 ②難波平人《深淵 (トルコ)》1993年 個人蔵
 ③難波平人《集落》1975年 個人蔵 ④難波平人《ラリベラ (エチオピア)》2008年 個人蔵
 ⑤難波平人《ドゴンの集落 (マリ)》2001年 個人蔵 ⑥難波平人《レオンの街 (ニカラグア)》2014年 個人蔵
 ⑦難波平人《海の家》1971年 個人蔵 ⑧川西英《古道具屋》1941年 ⑨坊一雄《クラマルの街》1929年

東広島市立美術館 (広報担当：桑原 学芸担当：所)

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL :082-430-7117 FAX :082-430-7118

E-MAIL:2636026@izumi-techno.jp WEB:https://hhmoa.jp/



東広島市立美術館

HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART